

8-4-18 参加型計画専門委員会

1. 主な活動の記録

本専門委員会は、公共事業における市民参加のあり方と建設コンサルタントの対応検討を目的として、平成 17 年より活動をしている。

(1) 委員会の開催

平成 29 年 4 月から 10 回の専門委員会を開催した（下表参照）。

表 1 専門委員会の開催と主要活動状況

回数	日付	議事概要
1	4 月 11 日	年度計画の設定と WG 役割分担
2	5 月 18 日	今年度実施事項の WG の進捗確認
3	6 月 13 日	過年度成果の中間報告書案作成
4	7 月 11 日	勉強会資料、中間報告書確認
—	7 月 30 日	外部団体との勉強会
5	8 月 3 日	大阪講習会資料の確認
—	9 月 4 日	大阪講習会の開催
6	9 月 19 日	大阪講習会の評価
7	10 月 11 日	大阪講習会とりまとめ
8	11 月 14 日	今後の取り組み方針について
9	12 月 12 日	今年度活動の評価ととりまとめ
10	1 月 10 日	次年度計画策定

(2) 活動概要

a) 市民参加型計画のマネジメント手法の検討
参加型計画のマネジメント手法として、過年度より社会的活動の効果計測手法にも活用されている SROI (Social Return on Investment) に着目し、参加型計画への適用を検討してきた。平成 29 年度は、SROI のマネジメント手法を活用して、市民参加型事業の継続的活動に関する手法の検討を行い、中間報告書としてとりまとめた。あわせて、参加型まちづくり活動を支援する外部団体と共同の勉強会を実施した。勉強会では、まちづくり活動団体の活動事例を取り上

げ、本委員会の検討成果を活用したケーススタディを実施し、SROI 手法の適用可能性についての一定の成果を得た。

b) 広報活動

広報 WG が主体となり昨年に引き続き、広報ツールとしてホームページの運営を実施した。講習会の案内、参加募集、講習会のとりまとめ結果等の情報発信を行った結果、講習会関連の情報公開以降に 2300 を越えるアクセスを得ている。

(3) 講習会の開催

平成 28、29 年度の検討成果をとりまとめ、協会会員を対象に、市民参加型計画のマネジメント手法に関する講習会を開催した。

講習会では SROI の特徴とそのマネジメント手法の概要を説明し、まちづくり活動団体の活動をケーススタディとして取り上げ、参加型計画のマネジメント手法の適用可能性を紹介した。

また、関西大学の馬場英朗教授から、SROI を活用した諸外国の事例や参加型計画のマネジメント手法としての適用可能性の示唆をいただき、会場とともに様々な意見交換を行った。参加人数は 71 名であった。

講習会の取り組み内容は HP を通じて公開し、情報発信している。

2. 次年度の活動について

平成 30 年度は、過年度の活動と講習会成果に、新たな検討を加え、都市空間形成やまちづくり活動の事業マネジメントに関する対応および、多様化する市民要望への対応も目的に加え、新たな参加型計画の取り組みの検討を予定している。

(参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司)